

Tokyo Artist Accelerator Program (TAAP)

作品を「語る力」と「コンセプト」を磨き上げる伴走型支援プログラム

第2期支援アーティスト12名を決定！

東京都と(公財)東京都歴史文化財団は、
美術・映像分野の若手アーティストを支援するプログラム、
トーキョー・アーティスト・アクセラレーター・プログラム
【略称：TAAP(タープ)】を令和5年度より実施しています。



この度、第2期支援アーティストの公募を行い、
前回の1.5倍となる92名の応募から一次選考(書類)および本選考(プレゼンテーション)を経て
12名の支援アーティストを決定しましたのでお知らせします。

TAAPは、アーティストによる作品の言語化に焦点をあて、
語る力の向上とコンセプト強化の両面からサポートする伴走型の成長支援プログラムです。

今後、選考委員及びメンターとの約8か月にわたるメンタリング・プログラムで成長を後押し、
秋には成果発表となるプレゼンテーションステージの開催を予定しています。詳細はHPをご覧ください。

アーティスト名	略歴
いげぞえ しゅん 池添 俊	《声を待つ》(2022年、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館) 高橋瑞木賞受賞、《あなたはそこでなんて言ったの?》(2021年、第59回ニューヨーク映画祭、第36回ベルフォール国際映画祭ほか)
おりた ちあき 折田 千秋	個展「Street Meta Graphics」(2024年、秋田市文化創造館)、ハマカルアートプロジェクト2024採択、「sanwa company art award」ファイナリスト(2021年)。東北大学大学院工学研究科修了
くぼたおぎすともひろ 久保田萩須智広	個展「eat ro ekyu」(2022年、EUKARYOTE)、グループ展「COM COURSE『その姿の探し方』」(2024年、トーキョーアーツアンドスペース本郷)ほか。東京藝術大学大学院博士後期在籍
くぼた のぞむ 窪田 望	個展「ECHOES OF UNSEEN」(2024年、東京藝術大学)、「AIの余白」(2023年、BAG-Brillia Art Gallery-)ほか。東京藝術大学大学院先端芸術表現科在籍
くろだ やすあき 黒田 恭章	個展「COLOUR FIELD ON FIELD」(2024年、Galerie Robertson Arès)ほか。武蔵野美術大学大学院造形研究科デザイン専攻工芸工業デザインコース修了
こばやし はやて 小林 颯	個展「ポリパロール」(2024年、アートセンターBUG)、東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了後、渡独。ベルリン芸術大学大学院アートアンドメディア科修了
こんどう さとみ 近藤 智美	個展「大正ヤマンバギャルド」(2023年、Gallery MUMON)、グループ展「森美術館10周年記念展・LOVE展」(2013年、森美術館)ほか。
さいとう えり 斎藤 英理	「恵比寿映像祭2025」(2025年、東京都写真美術館)、「Artists in FAS 2024」(2025年、藤沢市アートスペース)、e-flux Film Award, Second Prize 受賞(2024年)
しばちゅう 司馬宙	監督作品《リフレイン》が第3回日本ホラー映画大賞(2024年)にて上映。《Eclipse》(脚本、2019年、上野桜木・市田邸)ほか。東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了
ひばら せいこ 日原 聖子	個展「Circle in red」(2021年、駒込倉庫)ほか。2022年、ポーラ美術振興財団在外研修員としてチェコ共和国に滞在。プラハ美術アカデミー修了、東京藝術大学大学院博士後期課程修了
みの あらた 三野 新	個展「クバヘ／クバから」(2021年、ANB Tokyo)、「人間と魚が浜」(2016年、G/P gallery shinonome)ほか。東京藝術大学美術研究科博士後期課程修了
わきた あおい 脇田 あおい	個展「入ってます」(2016年、新宿眼科画廊)、グループ展「Touch our lives」(2023年、不知火美術館・図書館)ほか。武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程修了

※ 本選考の様子は、TAAP公式HPからご覧いただけます(令和7年4月30日まで)

本件は、「『未来の東京』戦略」を推進する事業です。
戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略

公式HP
(URL : <https://taap.art/>)



問合せ先 (事業について)

生活文化スポーツ局 文化振興部 企画調整課 電話 03-5000-7227

(選考・支援内容について)

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部企画課 電話03-6256-8853

事業概要・支援内容

アーティストとして活躍するには有意義な作品を制作するだけでなく、アーティスト自身の美術史における位置づけや作品コンセプトを明瞭に伝える力も重要になります。

TAAPでは3つの支援メニューにより若手アーティスト自身による作品の言語化に焦点をあて、アート市場での活躍と国際的な飛躍を支援します。

1. プレゼンテーションを軸に実施するメンタリング・プログラム

ギャラリストやアーティスト、コレクター、キュレーターら多様な背景を持つ現代アートのスペシャリストにより構成される選考委員及びメンターと8か月にわたる継続的な対話を実施します。これらのメンタリング・プログラムを通じて、作品を語る力の向上とコンセプト強化を促し、支援アーティストの成長を後押しするとともに、国内外の芸術文化関係者とのネットワーキングもサポートします。

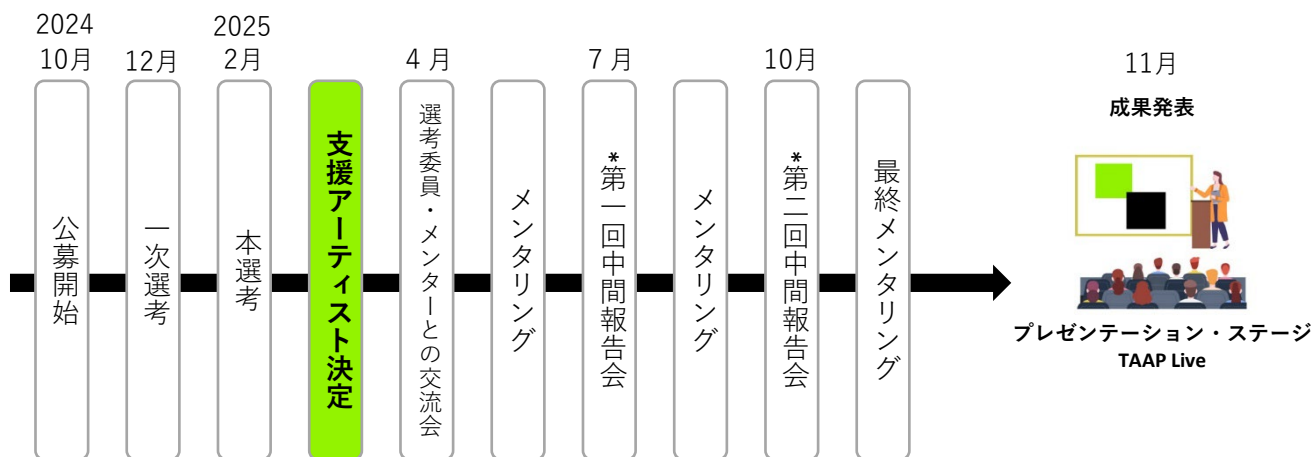
2. プレゼンテーション・ステージ『TAAP Live』

今年11月(予定)に、国内外のギャラリストやキュレーター、コレクターを含むオーディエンスに向けアーティストが自身の力で作品について語るステージを作ります。

3. 制作支援金

創作やリサーチ等に活用できる制作支援金(495,000円)を支給します。

■事業スケジュール(予定)



*メンタリングの成果報告を兼ねた選考委員へのプレゼンテーション研修

選考委員

氏名	現職
うへだ あんな 上田 杏菜	(公財)石橋財団 アーティゾン美術館 学芸員
たかの りゅうだい 鷹野 隆大	写真家/東京造形大学 教授
たぐち みわ 田口 美和	タグチアートコレクション 共同代表/ サンパウロ・ビエンナーレ インターナシヨ ナルアドバイザリーボードメンバー
ほそい まさこ 細井 眞子	TARO NASUギャラリー ディレクター
やまぐち えいいち 山口 栄一	(一社)アートパワーズジャパン 代表理事/ (公社)経済同友会 スポーツとアートによる社 会の再生委員会 委員長

メンター

氏名	現職
あまの たろう 天野 太郎	東京オペラシティアートギャラリー チーフキュレーター
あわた だいすけ 粟田 大輔	美術批評
えばた きょうこ 江幡 京子	アーティスト
こばやし まひこ 小林 真比古	biscuit gallery 代表
ふじもと ゆきこ 藤元 由記子	(株)ブックエンド 代表取締役/NPO法人アート &ソサイエティ研究センター 理事

※第3期公募の際に、選考委員・メンターは変更となる可能性があります。